おかえりなさい　はやぶさ

２５９２日の宇宙航海記

講談社

二〇〇三年五月九日、小惑星探査機「はやぶさ」は宇宙へ打ち上げられました。地球から約三億キロメートル離れた、小惑星「イトカワ」のカケラを持ち帰る航海の始まりです。イトカワにたどり着いたのは、二年四カ月後。着陸失敗、交信不通、エンジン停止など、何度もおとずれる危機を、あきらめることなく乗り越えていきます。

二〇一〇年六月十三日、はやぶさはその使命を終え、流れ星となって消えていきました。これは、約七年間の奇跡の宇宙航海記です。